



2021年も  
よろしくお祈りします



# No.160

メロン、丸い形は地球に見える?メロンのようにおいしく、その表面の網目のように  
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします!

巻頭	箕面市人権文化部長に直撃インタビュー …… 1	カレンダー	2021年1月の comm cafe ランチカレンダー …… 5
紹介	本の紹介「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」…… 3	お知らせ	協会・他団体からのお知らせ …… 6
紹介	シェフ紹介 ズィアさん (ニュージーランド出身) …… 4	巻末	編集後記 …… 8



## 箕面市人権文化部長に直撃インタビュー! ~多文化共生施策の今、そしてこれから~

多文化共生のまちづくりを進める上で、市役所と協会、そしてボランティアの連携は欠かせない。そこで今回、協会の市の窓口、箕面市人権文化部を訪問し、今年度から人権文化部長を勤める尾川正洋さんにインタビューした。尾川さんは文部科学省からの出向職員で、現在、箕面市教育委員会副教育長、子ども未来創造局長、人権文化部長を兼任している。

### Q これまでどんな仕事をされましたか?

前職は文部科学省中等教育局にいました。例えば今、少人数学級を進める議論がありますが、それを実現するためには教員の増員が必要なので、予算を財務省に要求したり、いじめ防止対策推進法が成立したので、それを全国の学校現場でどう実現していくか。そうしたことに国の側から取り組んできました。

### Q 今までの仕事のなかで特に印象深いことがあれば、教えてください。

最近でいえば、小学校高学年での英語の教科化ですね。専科指導と言っていますが、英語を教えらるる教員を全国に配置することに取り組みました。

それと、就学援助への取り組みですね。国が生活保護制度の見直しをして、保護費を減額しました。これと連動して就学援助の対象基準も厳しくするという議

論が出たのですが、今まで援助を受けていた子どもが受けられなくなるため、就学援助の実施主体である市町村の教育委員会へ「就学援助の対象基準は変えないようにしてほしい」という、通知を出しました。それを出すにあたり、全国1800の市町村の就学援助の実施実態をかなりの時間をかけて調査しました。文科省のHPに「就学援助ポータルサイト」というのがあるのですが、あれは私が作ったものです。

### Q 箕面市に来られての印象は?

文科省では自治体を指導する立場だったのですが、逆に市では当然、指導を受ける立場になります。立場の違いで見えるものが違うのは非常に勉強になります。

それから、箕面市がすごいなと思うのは、例えば、不登校の子どもにオンライン授業を配信したり、外国人防災アドバイザーの取り組みなど、国が真似をしなければならぬような、新しい取り組みをどんどんやっていることです。実現までの動きが速く、前向

発行・差出人：公益財団法人箕面市国際交流協会(MAFGA)

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel: 072-727-6912 Fax: 072-727-6920 E-mail: info@mafga.or.jp HP: www.mafga.or.jp

賛助会員数：316名 法人会員数：29団体(2020年12月16日現在)

きにどんどん進んでいるなと感じます。さらに良くしていくために全力で取り組んでいきたいと思っています。

市役所にいるだけでは情報が入ってこないこともあるので、休みの日には滝道や西国街道をよく歩いています。実は小野原のほうも歩くのですが、初めて行ったとき、comm cafe がどこにあるのかわからず、通り過ぎてしまいました。新型コロナウイルス感染症の影響で休館中の時だったのかもしれませんが。

広島市のかなり田舎の出身である私にとっては、箕面には田んぼもあり、夏になると蛙が鳴いていて、どこか懐かしく感じます。

**Q 箕面市の国際化・多文化共生施策の現状について、どのように見えているのでしょうか？**

これは協会にやってもらっているという面が強いですね。大阪大学の新箕面キャンパスが開学することに向けて、協会が大阪大学との連携について協議していると聞いていますが、船場地域の新しい生涯学習施設なども活用して、外国人・日本人関係なく、箕面市民みんなが楽しく過ごせる取り組みがどんどん広がっていきばいいなと、期待しています。

**Q 先日、「全国で4割の自治体が在住している技能実習生の実態を把握していない」という新聞報道がありました。箕面市ではどうでしょうか？**

市では住民登録の際から、技能実習生との接点が始まります。まずは、「みのおウェルカム・バック（多言語による生活情報冊子）」をお渡しして、国際交流協会の相談窓口の紹介などの生活に必要な情報をお伝えしています。それから、市役所にはいろいろな窓口があり、



みのおウェルカム・バック  
(多言語による生活情報冊子)

例えば生活困窮や虐待などの相談を受け付けると、どこの窓口で相談に行っても、情報を適切な部署につないで共有し、横断的な支援ができるように連携を図っています。とはいえ、不十分な点があれば、

ぜひお伝えいただいて、改善していきたいと思っています。

また、現在のコロナ禍で支援が必要なのに市役所から見えていないケースが増えていく可能性もあります。そうしたケースが生じる可能性について意識しておく必要があると考えています。

行政として協会とも連携しながら、より苦しい状況にある方、困っておられる外国人市民の存在を常に意識しながら、全体の施策を作っていくことが大切だと思います。



全国的にみると人口が減少していく今日では、日本社会の活性化という意味でも、外国からの人材を受け入れていくことは大切です。私たちが文化や人権感覚を身につけ、みんなが共生していける暮らしづくりが大事だと思います。

**Q 外国人市民からは、「近所の人に挨拶をしても返事を返してもらえない」など、日本人住民との間に壁を感じているという声を聞きます。共生社会にむけて、市民は何をしていったらよいでしょうか。**

外国人市民だけでなく、日本人同士でも顔見知りでなければ挨拶をしなくなっているという面もありますね。特にコロナ禍で気持ちが閉じてしまっている、ということもあるかもしれません。人と人がお互いを意識しながら場面を増やすことで、お互いを知るきっかけとなります。まずは協会の取り組みやイベントなどで多文化交流の場が多くあるので、まずはそういうところに参加してもらうことが大切なのではないか、と思っています。(取材：河合、平沢、鷲尾)

取材を終えて…

**鷲尾** 今年にはコロナ禍のため、尾川さんが多民族フェスティバルなどのイベントを通じて協会の活動やそれを支える人々と顔を合わせることは残念ながらなかなかありません。これから comm cafe や日本語教室などの日常的な活動の実際を知ってもらえたらと思う。

**平沢** 私が持っていた「国のお役人」というイメージからほど遠い、爽やかな感性の方で驚いた。箕面の教育や人権文化を高く評価しつつ、現場をきちんと見て、偏りなく施策に繋げようとされる姿勢に共感。コロナ禍でも、外国人市民や社会的弱者を置き去りにしない多文化共生社会を実現するため、協会の力強い助っ人になって頂けると期待している。

**河合** 自身の持ち場で、大きな施策をよりよい形にしていけるために努力してきた話が印象に残った。市民との距離がより近い市役所という場所で、多様な人々の声に耳を傾ける、その機会を協会としてもつくっていききたい。



# 「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」

ブレイディみかこ 著

## —中学生の日常を通して知る英国の“今”の教育と社会の現実



著者は英国在住20有余年の日本人女性。元保育士。アイルランド人の夫（白人、大型トラック運転手、元銀行員）、中学生の息子と3人でロンドンの南にある港町ブライトンに住む。著者は、二つのルーツを持つ息子が、中学入学から中学2年の途中（2019年3月ごろ）までに体験した、多様性に満ちた校内外での出来事を通して成長していく物語。

英国は一人あたりGDPは日本と同レベル、移民が人口の約14%を占める。

**助け合う社会** 財政改善のための緊縮財政が2010年から続き、貧困家庭が増え、学校の先生が貧しい子どもに食物を買ったりしている。助け合い活動が盛んに行われ、制服のリサイクルをして必要とする子に渡したり、雪が降ると路上生活者に温かい食事を提供したりする。母親もそういう活動に参加している。学校では授業で、慈善活動を教え、実習も行う。活動を支援するシステムが学校教育にも組み込まれているのには感心する。

**英国の教育** 英国には公立の宗教校がある。息子も小学校はカトリック校に通った。中学は一般校。最初に習ったのが「エンパシー」と言う言葉。他人の立場に立ってみる、と言う意味。EU離脱で分断した英国に必要な言葉だ。LGBT教育が中学2年で行われている。学校のクリスマスコンサートでは、生徒が作詞作曲した歌やラップばかりが披露され、その歌詞に一部の親は顔を顰め、先生は皆拍手をしている。

スウェーデンで15歳で環境保護活動を始めたグレダさんの影響を受けて、ブライトンで温暖化防止デモがあり、中学生も参加した。学力上位校などは当日、休講にして生徒が参加できるようにした。息子の学校は休校にならず、息子は参加できず残念がる。これらは英国の現実の学校の姿である。

**多様性ワールド** 息子の通う中学には移民の子もあり、また家庭環境はバラバラで多様性に富む。息子の二人の友人は、一人は移民、もう一人は貧しい白人の子。二人が喧嘩して白人の子は「ハンキー（東欧出身者への蔑称）」と言い、移民は「貧乏人め」と言った。白人の子だけが差別発言とされ先生から罰を受けた。人種差別には厳しい。

二人はよく喧嘩するので、中に立つ息子は苦労する。「多様性があるのが良いというが多様性は楽ではない」とこぼす。母親は「多様性は楽でないから無知にならない」と諭す。

そういう母親も時に多様性に苦労する。人には他人から話されたくないことがあるがそれは表には見えない。「地雷」のように隠れている。多様な社会では「地雷」も多様、気づかずにそれを思いっきり踏んでしまうことがある。

入学後1年半が経過して、息子は「入学した時、『僕はイエローでホワイトで、ちょっとブルー』と走り書きしたけど、今はブルーのような将来への不安感はない。今はグリーン、環境のグリーン、未熟のグリーンだ」と母親に語る。母親は色はまた変わる、と思う。

本書は息子を困む、父母、日本の祖父が織りなすホームドラマでもあり、心温まる箇所も多い。

英国の社会、英国の教育には日本と異なることが多くて刺戟を受ける。こんな教育もあると知っておれば将来何かにつながるかもしれない。多様性のある社会で生きるとはどういうことなのかについて、結構深い内容もあるが、息子の体験に共感しながら、やさしく学ぶことができる。教育、多文化共生の読み物として一読をお勧めしたい。(荻野)





# 1DAY シェフの紹介 **ズィアさん**



ズィア・ローズさん

“ Kia ora ! ” (マオリ語で、"こんにちは")

ズィア・ローズさんはニュージーランド、クライストチャーチの出身、大学で文化人類学と日本語を学び、日本に行ってみたくて思っていた。卒業後の2019年8月に来日し、箕面市役所で国際交流員として働いている。また comm cafe のシェフでもある。

NZ は公用語に NZ 英語、マオリ語、NZ 手話がある。マオリ語や NZ 手話はそれぞれ使う人は少ないが、公用語として大切にされていることに驚いた。日本の印象は? せっかくなので、驚いたことをお聞きしたら、「東京の人混みがすごくて、外へ出られなかった、クライストチャーチは静かだから」とのこと。

「キウイを見る事がありますか?」と尋ねると、残念ながらほとんど自然の中では見る事ができず、ズィアさんも動物園で見ただけという。こうした飛べない鳥たちは、現在厳しい保護政策がとられているが「野生のペンギンを見ることはできるのよ」。

今日の料理は、

**南瓜スープ (カレー味)**

**麦のサラダ**

**シェパーズパイ (元々はイギリスの羊飼いの料理)**

**パン (朝からコムカフェで焼いたもの)**

**チョコレートケーキ**



日本に来てうれしかったのは、NZ より豆腐が美味しいこと。サラダ油で野菜と一緒に炒め、醤油やチリソース、胡椒で味をつけるそうだ。主食はパン、米 ( オーストラリアからの輸入が多い )、パスタなどである。ズィアさんが好きなのは玄米。

最後に、私が以前から気になっていた、2本の木のスティックを使いながら歌うマオリ民謡「エババ」について教えて頂いた。ガールスカウトの歌集に載っていて、小学生の子どもたちがやってみたいと言っていた歌だ。歌集をお見せすると、「わあ、懐かしい! 小さい頃、学校で必ず習いました」「スティックは?」と尋ねると、「雑誌を2冊それぞれくるくる巻いてテープで止めるの。終わったらテープを取れば、元の雑誌に戻るからエコでしょ」「木は使わないのね?」「木はぶつけたら痛いから」後日、新聞紙を丸めてテープで止め、子どもたちと「エババ」を歌ってみた。とんとんと打ち鳴らす音が心地良く、おチビさんたちは夢中になって歌っていた。もちろん終わったら元の新聞紙に戻る。

ズィアさんが心を込めて作る料理、次回が楽しみである。(井嶋)

胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科

## おざわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
pm1:00~3:00(胃カメラ)	□	□	□	□	□	□
pm5:00~7:30	○	○	○	○	○	○

※診療開始 30 分前から受付します。  
 ■胃カメラは予約制です。  
 ■休診日: 土曜日午後・木曜日・日曜日・祝日  
 ■http://ozawa-clinic.world.coocan.jp/  
 【住所】〒562-0023  
 箕面市粟生岡谷西 3-7-9 シャトー野間 1F  
 阪急バス停留所「宮の前」 スーパーマルヤス向い  
 □無料駐車場 有

TEL : 072-730-0721

fairtrade shop & cafe

エスパーロ  
能勢  
espero nase

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476

営業時間: 金~月 11:00 ~ 17:00

http://espero-osaka.com/

箕面市国際交流協会の  
多言語による生活相談窓口

電話 072-727-6912  
(日本語・英語)

メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。

日時: 火曜日から日曜日 9:00~17:00  
 受付方法: 来館、メール、電話  
 対応言語: 日本語、韓国・朝鮮語、中国語、英語、ポルトガル語  
 場所: 箕面市立多文化交流センター

1月  
January



# comm cafe ランチカレンダー

コムカフェ

<b>火～土</b>	<p>★朝カフェ … 9:30 ～ 11:30</p> <p>★ランチタイム … 11:30 ～ 14:00 * 売り切れ次第終了します *</p> <p>★午後カフェ … 14:00 ～ 17:00</p>		<p>ランチは 880 円 (税込) です。 * ランチタイムのみプラス 100 円でコーヒー・紅茶・ジュース・季節のドリンクが付きます。</p> <p>●ご予約 (comm cafe 直通) 072-734-6255</p>
<b>日・祝日</b>	<p>★世界の朝ごはん (ドリンク付 660 円) …10:00 ～ 13:00 * ランチはありません</p> <p>★ランチセット (ドリンク付 510 円) …9:30 ～ 15:00 * ランチはありません</p>		<p>☒ … スナック or スウィーツの日    ☑ … カフェで開催するイベント</p> <p>各種イベントの詳細は「めろん」P6・7をご覧ください。</p>

**comm cafe からのお知らせ** ★平日もモーニングはじめました！ 9:30am ～ 11:00am L.O.

◆トーストセット 510 円◆ 手作り食パン、ブルガリアのアプリコットジャム、ギリシャヨーグルト、ゆで卵 NZ 産バター、ドリンク (コーヒー、紅茶、ジュースのいずれか) つき

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	とようび	にちようび
				1	2	3
<p>年始は 1 月 4 日 (月) までお休みです。今年もどうぞよろしくお祈りします。 コムカフェクーポン (ピンク) のご利用期限は 2021 年 3 月 31 日までです。</p>						
4	5	6	7	8	9	10
休館日	☒ MAFGA スナック	☒ MAFGA スナック	☒ MAFGA スナック	☒ MAFGA スナック		世界の朝ごはん 《ベトナム》 10:00 ～ 13:00
11	12	13	14	15	16	17
スランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	テイさん 《ベトナム》 ☑ フェアトレードにふれる 10:00 ～ 11:00				ジェニーさん 《アルメニア》	スランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《ベラルーシ》 10:00 ～ 13:00
18	19	20	21	22	23	24
休館日	ノックさん 《タイ》		セバルさん 《トルコ》		テイさん 《ベトナム》	スランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00 ～ 13:00
25	26	27	28	29	30	
休館日	セバルさん 《トルコ》		クラウディアさん 《メキシコ》	洪さん 《コリア》	いずみさん 《ベトナム》	

- ベジタリアン、ハラール、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。 <https://www.facebook.com/mafgachallengecafe>



# 国際交流協会(MAFGA)からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは(公財)箕面市国際交流協会まで

※開催場所：箕面市立多文化交流センター

電話：072-727-6912 FAX：072-727-6920 E-mail：info@mafga.or.jp

定例イベント	<b>1/17(日)</b> 14:00~15:30 <b>Sunday Book Review</b> 英語の原書を一緒に読みませんか? “The Remains of the Day” (日の名残り) Kazuo Ishiguro / カズオ イシグロ 著	場所：ボランティア活動室 参加費：ドリンク代 (200円～) 申込：初めて参加する場合は、 資料の準備のため要事前申込
	<b>1/20(水)</b> 10:00~11:00 <b>シカモ サロン</b> ～世界のことばと文化をめぐる～ 【話し手】ムンフバヤスガラン (モンゴル・モンゴル語) 『スーホーの白い馬』	定員：10名程度 (申込み不要) 場所：comm cafe 参加費：500円 (お茶菓子付き)
連続企画	<b>1/12(火)</b> 10:00~11:00 <b>フェアトレードにふれる チョコレート編</b> 目にすることが増えてきた?!「フェアトレード」商品。公正で公平な取引(フェアトレード)がなぜ大切なのか、生産されている商品を実際に手にして、その背景の物語を知りませんか。 ◎斎藤 和子 (みのおフェアトレードの会 楓)	定員：10名程度 場所：comm cafe 参加費：ワンドリンクオーダー制 (300円～)
イベント	<b>1/16(土)</b> 14:00~15:00 <b>理事長とはなそう!</b> 箕面市国際交流協会MAFGAは、どんな団体?何をしているの?理事長から直接聞いてみませんか? ◎前田 一成 (箕面市国際交流協会 理事長)	定員：10名程度 場所：comm cafe 参加費：ワンドリンクオーダー制 (300円～)
イベント	<b>2/13(土)</b> 16:00~17:00 <b>ペルシャダンス ワークショップ</b> <b>～紅(くれない)の舞～</b> ペルシャダンスを踊って、リフレッシュしませんか。 寒い如月に情熱の「赤」を身にまとい、心も体も温まりましょう。 ◎モタバリアプール アパールクイ ファアテム	定員：10名 (申込先着順) 場所：講座室 B・C 参加費：無料 赤いものを身に着けてご参加ください。

■箕面市立多文化交流センター・小野原図書館・comm cafe…12月28日(月)～1月4日(月)

事業名	年末最終日	年始開始日	事業名	年末最終日	年始開始日
ささゆり(初級読み書き)	12月22日(火)	1月12日(火)	子ども さぼると 子どももっと	12月19日(土)	1月9日(土)
さんさんクラブ	12月16日(水)	1月13日(水)			
せいなんにほんご	12月23日(水)	1月13日(水)	多言語相談 韓国・朝鮮語、中国語、英語 …(毎週火曜日) ベトナム語、ポルトガル語 …(第2・4火曜日)	12月22日(火)	1月5日(火)
あかね(初級会話)	12月17日(木)	1月14日(木)			
ひまわり	12月18日(金)	1月8日(金)			
萱野にほんご	12月18日(金)	1月8日(金)	国際理解のための語学講座 …12月24日～2021年1月6日までお休み		
T.E.S.日本語	12月19日(土)	1月9日(土)			
ひがしにほんご	12月20日(日)	1月10日(日)			

## 唐木幸子バレエスタジオ ～箕面の地で38年の歴史～

(公社)日本バレエ協会会員・AODT会員

\*バレエコース：教師歴55年の唐木幸子と、「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校教師養成学科」卒業、バレエ教授法取得証明書(Diploma)取得、教師歴25年の唐木智子が丁寧に指導致します。「バレエは芸術」として楽しんで長く続けられるように、また中高生にはクラブ活動や受験で断念する事のないよう配慮しています。幅広い年齢層(3才～70才位)で目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

\*健康コース：現在、大学教育にもなっている「姿勢科学」理論に基づいた姿勢調整をいたします。(姿勢科学療法)

〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前 (駅より30M)  
072-721-6300 / 721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>



大切な  
お知らせ①**コムカフェクーポン(ピンク)のご利用期限が迫っています!**期限は **2021年3月31日** までです。

お早めにご利用ください!

大切な  
お知らせ②**4月から賛助会員制度が変わります!**

①個人会員(2,000円)が廃止となり、個人寄付会員(3,000円)に統一されます。

②インターネット上からクレジットカード決済での入会手続きが可能になります。

詳しくは今後あらためてお知らせします。

**他団体からのお知らせ**

問合せ・申込みはそれぞれの各団体へお願いします。

オンライン  
美術館12/5(土)  
~  
3/14(土)**IMM 美術館 わたしたちはみえている  
~日本に暮らす海外ルーツの人々~**

日本に暮らす海外ルーツの人の「今」に焦点をあてた「オンライン美術館」海外ルーツを持つ表現者によるオンライン展示会、多文化共生に向き合う団体のトークセッションなど様々

場所：オンライン  
主催：東京都、アートカウンシル東京他  
問い合わせ：  
イミグレーション・ミュージアム・東京  
✉ info@aaa-senju.com

上映会

1/10(日)  
14:00~**とよなかシネコン ブラック・クランズマン**

黒人刑事が白人至上主義団体「KKK(クー・クラックス・クラン)」への潜入捜査した実話をもとにした映画

監督：スパーク・リー 制作年：2018

場所：すてつホール(豊中市玉井町1-1-1)  
参加費：無料  
定員：50名(要申込・先着順)  
主催・問い合わせ：  
とよなか国際交流協会 ☎06-6834-3434

まなびカフェ

1/16(土)  
14:00~15:30**私たちの生活と熱帯雨林のつながり**

~ヴィーガン料理といきものクイズを通して考える~

植物多様性の宝庫である熱帯雨林をもつ「ボルネオ島」を  
知っていますか? 森が切り開かれ、オラウータンなどの生き物が困っているのは、日本の私たちの食べ物  
が原因? 食と環境のつながりについてクイズや軽食を通して考えます。親子  
イベント場所：らいとぴあ 21 1F 展示コーナー  
箕面市立萱野中央人権センター(箕面市萱野1-19-4)  
参加費：500円(お菓子付き)  
定員：15名(要申込)  
主催・問い合わせ：らいとぴあ 21  
☎072-722-74002020  
セミナー企画2/5(金)  
18:30~20:30**「女性」であること、はたらくこと  
~ぼそぼそ声のフェミニズム~**

資本主義社会の中軽視されてきた「産む」「育てる」「看取る」「介助する」などのケアワーク(はたらくこと)の多くを有償で、または無償で担ってきた女性たち。はたらくことは生きること。「女性」×「はたらく」ということを、一緒に考えませんか。◎講師：栗田隆子さん(文筆家・「ぼそぼそ声のフェミニズム」著者)

場所：らいとぴあ 21  
箕面市立萱野中央人権センター(箕面市萱野1-19-4)  
参加費：無料  
定員：40名(要申込)  
主催・問い合わせ：  
暮らしづくりネットワーク北芝  
☎072-722-7400

coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

**町屋で楽しく洋服をつくってみませんか?**ボディに布を直接  
のせて服をつくって  
みましょう!  
(立体的裁断)**南正枝 プロフィール (略歴)**昭和42~45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体的裁断、  
デザイン等を修得昭和45~47年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー  
昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします! ◆パターンや立体的裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!

●問合せ：〒562-0012 箕面市白島2-2-30 電話/FAX 072(721)4151  
E-mail info@coupe-de-minami.com URL http://www.coupe-de-minami.com

## めろん編集ボランティアスタッフ募集中!

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方、ぜひご参加ください!!会議の日程は変更になる場合がありますので、参加される際は、事前に協会までお問合せください。

### 会議日程

読合せ 第2火曜日 15時～(次回は1月12日)  
編集会議 第4土曜日 10時～(次回は1月23日)

### 作業日程

印刷 毎月最終火曜 13時～(次回は1月26日)  
発送 毎月最終水曜 13時30分～(次回は1月27日)

### 場所

箕面市立多文化交流センター2階

## 編 集 後 記

吹田歴史まちづくり協会と吹田市国際交流協会が共催で、11月末に「チーム・モイ」のチェ ユニさんとタナヤマカルジーさんを招いて「語り合いカフェ」を開催した。明るく温かい語りかけに、とても雰囲気の良い会となった。事前に、心無い発言があった場合の対応について尋ねると、「参加者がいやな気持ちや言葉を隠すよりも、この場では表に出してほしい」と思っている。ずけずけと言われるとしんどいけど、表に出てくれば語り合うことができる」との答え。その言葉と会での語りを聞いていると、協会職員や外国人当事者の編集委員が繰り返しコメントしていた言葉を思い出した。「マジョリティは、その自覚が足りない」「マジョリティは、自分の視野に入っていないところで起きているだろう差別を想像しなければならない」と。ボランティアを10年やってきて、ようやくその言葉の意味する感覚が、少しだけ自分の中にもてるようになってきたと思う。

さて、12月に公表された(仮称)箕面市新改革プラン(素案)の中に、「公益財団法人箕面市メイプル文化財団と公益財団法人箕面市国際交流協会の統合」とある。日本語の「文化」には2つの使い方があり、1つは政府が推進する「多文化共生社会の実現」で示している人々の暮らし、生活様式そのもの。もう1つは、伝統的な、少し高尚なという意味で使われる「文化」である。一般的に、国際交流協会は「友好都市交流」「外国人のための団体」という過去のイメージが強いが、現実の活動の多くは、私たち誰もが暮らしやすい地域づくりをめざすものであり、みんなの人権を守ることであり、市民の居場所でもある。その協会の推進力の一つは、僭越ながら市民ボランティアだと思ふ。ルーツを問わず、できることが何かあればと集い、意見が違えば時間をかけて話し合い、多くの市民ボランティアが時間と労力と想いを注ぎ込んできた。世界中のどこにも理想的な多文化共生社会が実現しているとは言えない。だからこそ、一市民ボランティアとして、課題もまだまだあるが、協会が存続することを心より願っている。(大橋)

## アクセスマップ



### オレンジゆずるバス

- (平日・土曜)黄ルート「多文化交流センター前」または赤ルート「小野原南」から西へ約550m
- (日曜・祝日)緑ルート「小野原西5丁目」から西へ約200m  
※「多文化交流センター前」には停まりません。

### 阪急バス

出 発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30、51、55、56 58、59、66、79	① 小野原 ② 小野原西
	175、176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西5丁目
	70、78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
阪急石橋から JR茨木方面から	92	① 小野原 ② 小野原西

### 「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、大橋亜由美、荻野克彦、島田希、崔聖子、平沢清美、山下三千世、結城なお、鷲尾則昭  
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、末原真紀、炭野洋子、鳥羽山良平

問合せ：(公財)箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西 5-2-36 多文化交流センター

Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp

HP : www.mafga.or.jp FB : facebook.com/Mafga みのお多言語ポータル : http://portal.mafga.or.jp/